

1. 件名：「大間原子力発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（114）」

2. 日時：令和3年11月25日（木）13時25分～14時55分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、中村主任安全審査官、永井主任安全審査官※、大井安全審査専門職、松末技術参与

電源開発株式会社※ 原子力技術部 部長 他8名

※テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・大間原子力発電所 基準津波策定について（コメント回答）
- ・大間原子力発電所 基準津波策定について（コメント回答）（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	含んとか、
0:00:01	はい。こちら準備と止まっております。よろしくお願いいたします。よろしくお願いいたします。そしたらまず資料の説明からお願いいたします。
0:00:11	はい、電源開発原子力技術部の高岡でございます。本日は、基準津波策定のうち県の組み合わせまでおまとめ資料を意識した形をご用意しております。
0:00:24	その際にしろまとめ資料の形にする際に、前回ご指摘いただいた内閣府モデルの検討の記載箇所ですね、移動したり、それから択捉島沖まで含めた波源域スクリーニング際の
0:00:40	プロ実行再整理したりとか波源組み合わせの際に、斜面崩壊のサイト資料1の概略検討と詳細検討の水位の違いですね、そのあたりの分析問われましたので追加したり、さらには千島海溝沿いのアウターライズ地震津波の影響ですね。
0:00:58	そういったものを補足資料に追加して御説明させていただきます。
0:01:04	本日はですね10月7日15日に引き続きとなりますので、審査会合での掃気のご審議をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
0:01:17	それでは御説明に先立ち資料の確認をしたいと思います。右上にACA155と書いたものと156とか以下2冊Rev1バンとですね、それからコメントをリストでございます。
0:01:34	コメントリストについては、本日の対象となる津波については、主に23分の21ページ22ページなどに記載されていて、赤字で本日のヒアリングで御説明の旨を記載してございます。
0:01:51	それから23分、2ページと3ページに11月5日に御審議いただいた内陸地殻内地震のコメントを追加してございます。ただし、面談での消費性がですね、ちょっと一部未反映未反映な部分で、これにしてしまう。
0:02:11	ております。大変申し訳ございません。修正したものについてはヒアリング終了後急ぎお送りさせていただきます。
0:02:20	例えばですね、
0:02:22	S4の5番ですね、地震発生層、これ簡潔に直すとかですね。
0:02:29	S4の10番については、下から23業務に隆起が説明できる領域、そういったところを直さなきゃいけないかたんですけども、ちょっと反映でした。申し訳ございません。こちらはお送りさせていただきます。
0:02:47	それではですね、資料内容について、津浪担当のカンダのほうから御説明いたします。説明時間といたしましては、死亡10分後10分かからずに終わると思いますので、よろしくお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:07	はい。電源開発カンダでございますようよろしくお願いいいたします。
0:03:11	配りの資料ですけれども、本編資料と補足説明資料を 2 冊ということになっております。本編資料のほうから御説明させていただきます。本日は伊ワタ角からもありましたように、10 月の 2 回のヒアリングでいただきましたコメント。
0:03:28	そうですね。それに対する修正、箇所を中心に御説明をさせていただきたいと思えます。
0:03:35	まず数は、
0:03:38	数字の 4 ページをお開きください。
0:03:44	ごめんなさい。
0:03:47	あれは 9 ページです。
0:03:51	はい、全体のフローでありますけれども、これまで我々シヨウ処理ますテフロンは、左のほうからですね右の方向に流れるようなフローということでお示しをしておりましたけれども、
0:04:06	特にですね、あの組み合わせとですね、地震による津波、地震以外による津波はこれらがどういうふうに流れるのかということについて、層準量が明確でないにご出席いただきましたので、
0:04:21	今回ですね、上から下に流れるように、まず地震による津波を検討し、地震以外の要因による津波を検討して組み合わせを検討すると。
0:04:33	その時に防波堤等の影響検討ということで、基準津波というふうに流れるということで、資料を修正いたしました。また本日は組み合わせまでということですので、その範囲での説明をさせていただきたいと思っております。
0:04:51	次のページ 10 ページをお願いいたしますのまず 20 ページをお願いいたします。
0:04:56	目次でありますけれども、ちょっと構成も修正をさせていただきました基準津波まで一式いいということで、意識してですね、補足本編、これらの方向性を一新をいたしました。内容的に変わったところっていうのはございませんけれども、実施してございます。
0:05:16	どこが変わったかということでありますけれども、まず一章を既往津波等検討ということで、1-3、行政機関による既往評価の整理というものをこちらのほうに追加してございます。このEと理由につきましては後程御説明させていただきますと思えます。
0:05:34	また 2 章につきましては数値シミュレーションの 2-1 で津浪の計算条件ということで記載しておりますが、これまでは地震性、地震による津波と地震以外により運賃以外の要因による津波でそれぞれ記載をしておりましたけれども、
0:05:49	等も 2 章で一式精鋭構成されるということで、ここにまとめてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:56	また 2-3 書、
0:05:59	敷地及び敷地付近における評価方針ということで、こちらですね、これまで使いました、使っておりました情報プラス波源の選定という観点での資料を追加させていただきます。後程ご説明いたします。
0:06:15	3 章でございますが、地震による津波について、A3 の 2 章として、三陸沖から根室沖に想定される地震に伴う津波。
0:06:25	というふうに礁だいたしました、その中に山ろくから根室沖のプレート課で内閣府モデル、3-2-3 でプレート内と。
0:06:35	ということで構成いたしました。この内閣府がここにいるということは 1-3 章を追加したということに関連しますので、後程御説明いたしたいと思います。
0:06:46	ていう所が地震以外の津波、5 章がこれらの組み合わせということで 6 章で防波堤等の影響検討ということに金融という構成に見直してございます。
0:06:59	本日は、本店線で囲みました。一章から 6 章、これが説明の対象ということにさせていただきますと思います。
0:07:08	はい。
0:07:10	内容に移ります。
0:07:12	うちの参照ということで 1-3-1 ページをお願いいたします。
0:07:18	今申し上げました通り、行政機関による既往評価の整理というものを追加したということであります 1-3-2 ページをお願いいたします。
0:07:28	検討方針といたしましては来等津波の防災津波防災の観点から行政機関による敷地 10 円の既往評価について整理するということで整理してございます。
0:07:39	行政機関における津波評価につきましては大間付近への影響の有無を確認するということと、あと 7-2-2、本日はこれ資料化の対象から外れておりますけれども、最終的には 7-2-2 で行政機関による既往評価との比較と。
0:07:57	この実施いたしますので、ここにおけます検討対象を確認するということを目的に整理をしたということであります整理の対象は下に記載の通り、青森県 2015、国交省 2014 オカの 2017 年から 2020
0:08:13	ということであります。
0:08:14	1-3-3 ページをお願いいたします。青森県 2015 による検討ということで、三つの波源分を記載しておりますけれどもこれはこれまで青森県 2015 の波源として御紹介してきたと変更ございません。
0:08:29	1-3-4 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:32	結果でありますけれども、公表値ということで、青森県 2015 におけます想定津波の大間町の海岸線の津波水位は 1.9 から 5.9 というふうに評価されて公表されております。
0:08:46	1-3-5 ページをお願いいたします。
0:08:49	次はこう高所オカ 2014 でありまして混焼が 2014 につきましては、日本海Eにおきまして 60 個の津波断層モデル、それが示されております。これは 65 の断層ごとの主長の平均津波高は 1.5 メーター。
0:09:06	最大津波高は 2.8 ということで、右の表の多さのものになりますけれども、公表値が示されてございます五つの 3-6 ページをお願いいたします。オカの 2017 によります。
0:09:21	津波断層モデルとして、図 5 を波源が公表されておりますけれども当然ながら北海道のモデルですので、主長への影響については示されてございません。
0:09:32	1-3-7 ページをお願いいたします。内閣府 2020 による検討であります。
0:09:37	これエンド何度もお示しをしているものですが、大間町というくりに見た場合、提案上内閣府 2020 によります海岸線の海岸の津波の高さは約 5 メーターから 10 メーターというふうに記載がされてございます。
0:09:52	一応 3-8 ページをお願いいたします。
0:09:55	それと、今申し上げました通り公表値絵をですね整理いたしますと、この表を容易になります。
0:10:03	東北の中でですね、内閣府 2020 年の津波払モデルにより大間町への津波の影響が沿岸で 10 メーター程度というところもあるということで、他の行政機関の津波モデルに比べまして、顕著に大きいということも確認をいたしました。
0:10:18	したがって内閣府 2020 の津浪モデルにつきましては、地震性の津波Eであります 3 所の中で詳細に検討すると、そういう対象にするということでピックアップしたいというふうに考えております。
0:10:33	さらに青森県、国交省、北海道これにつきましては備考にも示しております通り、先ほど申し上げたののに所行政機関との比較ということが対象としたいというふうに考えてございます。
0:10:47	はい。続きまして、
0:10:50	2-3-1 ページをお願いをいたします。
0:10:56	うん。
0:10:58	3-1 の参照ということで敷地及び敷地付近における評価方針一式まとめたものでございます。飯野さんの 2 ページをお願いいたします。JA耐震重要施設等の設置箇所ということでこれまでお示ししてきたものから変更は今回してございません。ただ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:16	変更もですね情報といたしまして、この中に示しております。加斗太線、これ、防潮駅
0:11:27	ピンクのハッチング部分が防潮程度ということで、アイシン重要施設が設置されます 12 年版の敷地に自主対策として高さ 3 メーターのこれらの設備を設置するというお示ししておりましたけれども、
0:11:41	安全性向上に向けました社内の継続的な検討の結果ですね、これら防潮壁防潮では設置を取り上げるということにいたしました資料の範囲につきましては、基準津波の策定に関する審議、次回ということになると思いますけれども、
0:12:00	次回に合わせてこれらをなくすということをお示しをしたいというふうに考えてございます。
0:12:05	2-3-3 ページをお願いいたします。
0:12:08	はい。
0:12:09	これはこれまで同様でありますけれども、敷地におけます津波水位評価位置の考え方ということで、敷地における津波については下の図のように赤実線のところが上昇側、当遂行スクリーン経営 3000A す 12 年版の
0:12:28	前面の敷地及び取水口スクリーン室前面が上昇側下降側については、スクリーン室前面ということで、この評価水位抽出位置としてこれまで評価をじっとずとしてございました 2-3-4 ページをお願いいたします。
0:12:43	当敷地へ及ぼす影響の大きな波源域選定の考え方ということではプレートがあるのに、結果としてプレート間のところだけに出てくる考え方ではあるんですけども、1 枚追加してございます。
0:12:56	敷地におけます津波水位評価それ前提といたしまして、敷地に及ぼす影響の大きな波源域を選定する際に数値シミュレーション結果を用いて検討する場合には、いかにより評価水位抽出位置を設定する、した上で検討するというお示しを追加してございます。
0:13:14	その理由といたしましては、一つ目の上ですけれども、敷地及ぼす影響の大きな海域の〇波源域を選定する際には、耐震重要施設等が設置されます敷地に津波が到達しないということを確認する必要がありますけれども、
0:13:28	敷地並みに先ほど申し上げた敷地のみだけの検討ではですね、不確かさの検討等によりまして敷地へ及ぼす影響の逆転現象が生じる波源域を選定する。波源域選定を誤る可能性が否定できないということがありますので、
0:13:44	津浪におけます津波による敷地付近沿岸の影響を大局的にハグするということが有効であるというふうに考えられますので、敷地の質疑式のみならず、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	敷地付近をも含めた評価する注水値を設定するということにしたいと考えてます。
0:14:01	具体的な検討手順ですけども、二つ目に記載しておりますが、同様の記載内容が下のフローに記載しておりますのでフローに沿って説明いたします。
0:14:12	まず敷地へ及ぼす影響の大きな現役の選定につきましては、一つ目、1番目としてですね、敷地付近の津波水位評価としてJA領域の訂正に沿って評価する注水長を設定します。左にあります図に示します。このJA領域の上から下まで。
0:14:33	この赤の実線ですね、この実線の位置を設定をしてここの津波の水位の上昇量を示すということを実施いたします。
0:14:42	2点目、敷地の津波水位評価としてA敷地の津波水位抽出位置、これは2-3-3ページに先ほど申し上げた、従来の評価位置におけます静水上昇量を示すということを実施いたします。①と②で出てきました水を
0:15:01	比較いたしまして、一番でも2バンでも水位上昇量が大きな波源が同じ場合はサトウが良い波源を検討対象とすると。
0:15:11	異なる場合につきましては、より大局的に見ている①で選定されました波源域を選定すると。ただ、②で大きかった上げについてはそのまま800するのではなく、営業検討用の派遣と。
0:15:27	ということで位置づけるということで還元と検討を進めたいというふうに考えてございます。
0:15:33	2-3-5ページをお願いいたします。
0:15:36	確保が話ですけども、主水路からですね、主水路補機冷却水の取水確保、評価するに当たりますのは、取水口スクリーン室前面を評価する抽出いたします。変更ございませんで、二つ目のポチを追加いたしました。
0:15:52	原子炉補機冷却水の集水確保の評価につきましては、これも今回の資料の対象書いてありますけれども、最後の7ヶ所基準津波の選定をにおきまして開成町流量に対する原子炉容器冷却海水ポンプの運転可能時間と津波が
0:16:11	貯留できて延ばさを下回る継続時間を比較することにより実施いたします。
0:16:17	またこの際の根部の条件ですけども、原子炉補機冷却海水ポンプ以外の循環水ポンプ或いはタービンタービン補機冷却海水ポンプは稼働していない状況であるということを記載をさせていただきます。具体的な評価については次回ということになるかと考えてございます。
0:16:36	はい、2章については以上であります。モースちょっと飛びまして、3-1の10ページをお願いいたします。
0:16:47	日本回答4部に想定される地震に伴う津波であります、ここですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:58	切り上げモデルを検討するに当たりまして、資料の順序がまあ少し不自然ではないかというコメントをいただいた件について、日本回答MO代表として資料の修正内容について説明いたします。
0:17:12	江藤さんの1-10ページでありますけれども、国庫に該当するページとして、これまではですね、企業上げも出ますし上がった状態の或いは根拠、こういうものを一式そろえて、当明示してございました。
0:17:29	ただ順番としては仕上がりをごに持っているというのは不自然ではないかという御指摘いただきましたので、当庫の部分については設定手順ということで、シンプルにまずこれから基準波源モデルを考えていく上ではこの順番で考えていきます。
0:17:47	ということで示しさせていただいた上で、それぞれの各論について、この後に続くという構成に修正をさせていただきます。
0:17:56	なお、これまで使っておりました仕上がりの方ですけれども、3-1の49ページをお願いいたします。
0:18:07	今申し上げました手順で検討していた結果ということで、3-1の49ページに示します。波源の形、それと設定のフロー根拠ということでこのように位置づけるとこのような位置に配置すると。
0:18:25	ということで変更してございますのでこの変更につきましては、プレートとか、海洋プレート内チリということで、すべてにつったりしても同じように構成を修正したということでありますので、それについては個別の説明は収録させていただきたいと思っております。
0:18:43	続いて、プレート間についてであります、少し飛びますが3-2-1-28ページをお願いいたします。
0:18:56	はい、該当これにつきましては、前回前々回のヒアリングでもご指摘をいただいていたいただきました。結論としては変わっておりませんが、左側が前回の審査会合94回の審査会合
0:19:14	右側が本検討ということで、
0:19:19	二つ目の超滑り域は二つのモデルに対する検討対象波源域の選定について変更しますということであります変更理由としましては、右側の下から二つ目の四角の中の青の点々で書いているところでもありますけれども、
0:19:36	超おすすり利益が二つのモデルでは、敷地付近も含めて考慮すると、岩手県沖北部から十勝沖根室日の津波の影響が大きいと。
0:19:45	とか長期にモグラ仕事は時々冬季の津波は、影響確認用として扱うということで、結果して当お勧め利益が二つのモデルについては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:58	子細下段の岩手県沖北部から十勝根室沖にするということで変更したいということではありますが、ここもですね今申し上げた理由については人 3-2-1-33 ページに資料化してございます。
0:20:15	はい、町を滑り域が二つのモデルの検討対象波源域の選定ということで、資料を修正してございます。上から潮位も滑りが二つのモデルに関わります岩手県沖北部から十勝沖根室沖及び十勝沖根室沖からサポーター東京及び択捉島沖を対象といたしました。
0:20:34	築地及ぼす影響の大きな波源域の選定については、下記の数値シミュレーション結果 1①②を用いて検討するということで検討いたしました、先ほど申し上げた順序で検討してございますが、まず①でありますけれども、
0:20:50	敷地付近における津波水位評価位置である汀線沿いの最大水位上昇量を比較すると記載しておりますが、この内容は、下の図の左側にグラフがありますけれども、
0:21:03	当敷地付近の
0:21:07	結局県における評価する抽選位置における水位の分布を示してございます。赤線が岩手県沖北部から十勝沖根室沖の波源黒線が十勝沖根室沖から試行担当機及び択捉島沖の波源もすぐ、
0:21:24	ということになります。これを比較いたしますと、専用港湾内除きまして、岩手県沖北部から十勝沖、この波源の例の水位が大きくなっているということが確認ができます。
0:21:36	②ということで、今度は敷地における津波水位評価位置にあります取水口スクリーン室前面における水位を比較をいたしました。この図で言うと、左から二つの図ですね、1.76 という数字等 2.19 という数字。
0:21:52	があって、認識が大きくなると、すなわち十勝沖択捉十勝沖根室沖から施行担当教員及び択捉島沖の波源のほうがこの位置ではSuica大きくなると。
0:22:05	ということを確認してございます。
0:22:07	二つ目のポチですけれども、以上の通り、1と2において最大セールス津波水位上昇量が大きく基本大きな波源が異なるということを確認いたしましたので、
0:22:19	。
0:22:20	結果として1で推移が大きくなります岩手県沖北部から十勝沖根室沖、これを敷地に及ぼす影響の大きな波源として選定をします。
0:22:29	CAPEに大きくなりましたのが蒸気に室岡仕事東京及び択捉島沖、これは影響確認用の波源とすると。
0:22:37	ということで

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:40	利用ですねよりですね、そういうふうにするという理由についてはこのように再整理をしたということでもあります。
0:22:47	で、同じく3-2-1-37ページをお願いいたします。
0:22:53	今申し上げたのが超滑りが二つのモデルについてであります。一つのモデルについても同じ2です検討のパスを通過する必要があるということで同じような検討を実施いたしました。
0:23:08	①でありますけれども、
0:23:11	市下段の左TMIに記載しております水位分布をご覧いただきたいと思います と、赤瀬のほうが黒線のほうがやや河川のほうが全域に対して、
0:23:23	黒線よりも水位が高いことを確認しております。
0:23:28	②でありますけれども、これもですね、ずれると左から二つ目、二つの図ですけれども、2.88と2.24ということでもいずれも岩手県沖北部から青森県大きい の破壊特性を考慮した特性化モデルのほうが水位が大きくなると。
0:23:45	結果1①と②で推移が大きくなる波源が同じでありますので、
0:23:52	保証すべきが一つのモデルについては、岩手県沖北部から十勝沖根室沖を 検討対象波源とするということで、資料化してございます。
0:24:04	はい、プレート間については以上であります。
0:24:08	内閣府についてであります。ちょっと飛びますが、3-2-2-13ページをお願い いたします。
0:24:18	はい。
0:24:19	3の2-2がですね内閣府モデルによる津波ということで、この前段でこれまで 御説明させていただきました通り内閣府のモデルの保守性といえますか。そう いう情報が前にあったかあるという前提ですね。
0:24:36	このモデルをどう反映するかということについての記載であります。
0:24:40	江藤。
0:24:42	少しですね前回と前々回か前々回お示しをした内容がですね、日本語として 少し繋がりがわかりにくいという御指摘がありましたので、注文してございま す。
0:24:56	一つ目のうちは変更ありません。内閣府2020の最大クラスの津波波源モデ ルは津浪堆積物について、対策にどう区別することなく再現する逆解析により 設定されており、破壊領域の面積の割に大きな滑り量が設定されていると。
0:25:11	この滑り量はスケーリング即を用いて策定する災害すべてに覆わには丸設定 であると変更ありません。二つ目のほうです。このため、内閣府2020の最大 クラスの津波断層モデルの滑り量等のモデル化の手法は、
0:25:27	同じ関係であります。三陸沖から根室沖のプレート間地震に伴う津波。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:32	の波源モデルの検討には採用しないと。ただし内閣府 2020 モデル行による評価水位抽出位置におけます津波水位の下降量が基準波源モデル①から⑥等のカード地震による津波水位の下降量を上回ることも踏まえて、
0:25:51	安全側の評価を実施する観点から内閣府 2020 年までの敷地への影響が大きい波源モデルとして選定すると。
0:25:58	ことで修文いたしました。
0:26:01	はい。
0:26:02	A3 の 2-2-15 ページをお願いをいたします。
0:26:08	ここまでですね 3 章の中で三陸沖から根室沖のプレート間地震に伴う津波と内閣府 2020 モデルによる津波について、評価を前段で記載してございます。その続きとしてですね、これらについてはそれで続くようにということで
0:26:29	もう一つの例としては、補足に置いた場合ですね。本編同族行ったり来たりするということが考えられますので、この内容については本編にワンスルーでおくということでここに配置してございます。
0:26:42	内容的にはそんなに大きく変えておりませんので変更点だけをして説明いたします。この図表でありますのでぜひ図でありますけれども、主長から津軽海峡開口部付近の沿岸における基準波源モデル 1 から 6 の想定津波群、
0:27:00	イベント堆積物の分布及び内閣府 2015 \$ の想定津波を比較したものでありますところありません。
0:27:07	一つの論点でありますけれども、切り上げまで 1 から 6 の想定津波群の最高値はイベント堆積物の分布標高を上回るということで、何と何を比較しているかということを確認いたしました。
0:27:22	二つ目で切り上げモデル 1 から 6 については、超滑り域に盛大いたします青森県北部太平洋沿岸ではイベント堆積物が分布する沿岸に正対する会議で水位が高くなっていると、また、基準波源まで 1 から 6 の想定津波群の最高値は、
0:27:38	信頼が絡む川辺金この図でいうとオレンジでダイレクトおりますけれども一番右側ですね。
0:27:45	岩屋付近、真ん中のラインを東岸から易国間付近、左側のこの部分を除いて、イベント堆積物の上回るに設定されました内閣府 2020 モデルの計算水泳つ計算水位を上回ると、
0:28:03	いうことを確認しております。また、大間崎を回り込んでオーバー付近ということで、左下の図になりますけれども、基準波源モデル 1 から 6 に比べまして、内閣府 2025 \$ が相対的に高い傾向にあると。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:15	ということで、この概ねとかそういう言葉をですねこの辺と前回までは何ヶ所か使っておりますけれども、修正をしたということでもあります。
0:28:27	背景と続いて、少し飛びます 3-2-2-31 ページをお願いいたします。
0:28:36	系統この資料については前回から変更は、資料の内容については変更ありません。ここはですね、基準波源モデル 1 から 6 と内閣府 2020 モデルとの比較のうち津軽海峡内大間崎のほうも先生ですね。
0:28:51	汚水の時刻歴は経営企画したものであります。
0:28:55	二つ目のポチですけれども津軽海峡中央部においては、基準波源モデル 1 から 6 に比べまして、内閣府 2020 モデルの振幅が大きいと。
0:29:05	ということを示しております。またいずれ乗ってもですね津軽海峡中央では長周期成分が顕著でありまして、基準波源基準津波策定時に近づくコード静水変形の影響による津波の生活をされるということでこれまでお示しをいたしました。
0:29:22	でヒアリングの中でですね、
0:29:26	津軽海峡オオノですね、ハーフ等の地形の影響をどういうふうに反映しているのかと。
0:29:34	どういうふうな影響があらわれているのかということに対する関するご指摘がありましたので、この派遣についてですねそれぞれ周期がどれぐらいかということで引き出しておりますが、いずれの方でも約 140 分程度ということで確認をしているということでありまして、
0:29:52	140 分とはどういう未収金なのかということを次のページ 3-2-2-32 ページで評価してございます。
0:30:02	太平洋側からですね制限は集計周期をいろいろ変えた制限を入れて検討した結果が右の図の右のグラフのような感じになっておりまして、入社ハードですね周期が 140 分から 180 分程度、
0:30:19	宮推が増幅する傾向を確認しております。
0:30:24	先ほどのページでお示した通り、基準波源まで 1 から 63 と 6 例示としておりますけれども、及び内閣府モデルのは、これはともにですね、140 分程度の周期であったということをお示しでございます。
0:30:39	以上より、危機時津軽海峡中国におきましては、打上げモデル 1 から 6 層及び内閣府ともにですね、津軽海峡のこういう周期の影響を受けているということ。
0:30:52	と考えられるということで資料を追加してございます。3-2-2-33 ページをお願いいたします。
0:30:59	トマトでありますのでこれ前段の内容をまとめております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:05	前回まではこのビルの図がございました。ですので、キャプションですね、キャプションと図を比較することで、より場所とかですね、SEの関係がわかるようにと。
0:31:21	ここでこの図を追加したということであります。
0:31:25	はい。
0:31:26	少し飛びます。
0:31:27	陸上の斜面崩壊に起因する津波であります 4-1-27 ページをお願いいたします。
0:31:38	詳細に高覧で経営と説明いたしますが、4-1、かなり前ですね審査対象になったものでありますけれども、陸上の斜面崩壊に起因する津波については、ここに記載しております、黄色で図の中に記載しております 5号エリア。
0:31:56	このぐエリアをのうちですね、敷地に対する影響が大きいエリアを絞り込むということで概略検討を実施したということであります。
0:32:06	前回までは参考ということにしておりましたけれども後段でもこの情報を使いますので、追加検討ということで、少しマークライター等レベルを上げた生試料としておりますけれども内容に変更はございません。
0:32:22	はい。
0:32:23	少し飛びます。
0:32:26	はい。
0:32:28	これに関わりまして、ご一緒後も 1-1 ページをお願いいたします。
0:32:36	5章はですね、発電開発が津浪発生要因の組み合わせに関する検討でありますけれども、まず 5-1-1 章で組み合わせ対象の選定ということあります 5-1-2 ページをお願いいたします。
0:32:51	当検討方針ですけれどもこれ変えておりません。津波を発生させる要因の組み合わせとしましては上昇側の地震性津波のトップであります日本海洞爺加古川内閣府、
0:33:04	これを組み合わせ最小として債エリアパーン応答パレットそのを組み合わせ対象とする。
0:33:12	あさぎりを組み合わせ対象とするという理由は、PAR
0:33:17	陸上斜面崩壊のもう検討で差異が最も大きかった影響が大きかったということからであります、
0:33:26	組み合わせの対象としてこの際エリアがでいいのかということに関するコメントいただきましたのでそう検討であるということあります。これ前々回御説明指摘いたしました、検討フローとしては記載の通りでありまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:42	組み合わせ対象の陸上の斜面崩壊Eを抽出するという意味で、先ほど申し上げた概略検討ですね全員に対象概略検討を実施しておりますので、ここは系統と地震性の津波等縁部等大学生それぞれに対して線形重ね合わせをします。
0:34:01	ことを実施しますのでこれで最Aが最も影響が大きければ検討は終了ということになるんですが、
0:34:08	佐井エリアが日が浅いエリア以外が影響が大きいということが確認できた場合は、そのエリアを対象に詳細検討するという流れで検討いたします。日前回説明させていただいた通りですね、その状況が5-1-5ページ。
0:34:25	上昇側でありますけれども、
0:34:29	当再度3列にはけがありますが、最上段がすべて同じ日本海等MIに想定される地震に伴う津波の関係ですね中段が各エリアの斜面崩壊、に伴う津浪。ただしこれは概略影響検討の過程であります。
0:34:47	これらを時間差を考慮して重ね合わせなさいだということで、この結果、最も大きくなるのがさシリアー番だったということで作業だかという確認をしたということでありますので、5-1-6ページをお願いいたします。同じく下降側がバーでどういことをいたしましても、
0:35:05	最も大きな水位とだったのが、記しエリアということになります。
0:35:11	この1-7ページをお願いします。
0:35:13	線形重ね合わせで影響を確認をいたしましたところ、
0:35:19	上昇側も下降側も椎谷の影響が再度エリアを上回るというような結果になったということで、7日エリアに対して詳細検討するということで午後1-8ページ以降で検討を進めていたというものであります。その結果が、
0:35:35	今度1-19ページに示すものでありまして、
0:35:40	詳細検討を実施するとですね、整理1エリアの評価値というのは赤でくくって赤で囲っているSEという事上昇側については、1メートルいかないということで検討を終了してございます。一方3エリアはという所メートル弱ということでありまして、
0:35:58	これを詳細検討を実施したところですね。
0:36:02	概略検討等詳細検討の水の出方、この傾向に大きな差があったということをご指摘いただきましたので、その理由については口頭で御説明差し上げましたけれども、それを今回資料化してございます。
0:36:17	5-1-25ページからが追加検討資料となります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:26	大学で規模検討等、詳細検討の比較ということで資料を新たに追加してございます。検討方針でありますけれども、左右に投資家エリアを対象として実施いたしました外力影響検討の詳細原告等において、
0:36:42	すみません、シリンジエリアの加力計画検討の水位が
0:36:48	詳細検討よりも低い。
0:36:50	という特徴的な要因たという結果になりました、下の表がその結果でありますけれども、上段が際の結果、下段が私立の結果になります。
0:37:02	最後K外力影響検討と上昇側だけ読みますが、3.65メートルであったのに対し、詳細検討には行目メートル5メートル弱ということでありました。
0:37:12	一方、資料1については、概略検討には1.59であります、詳細検討には決めたい課題0.6ぐらいだ程度ということになっておりますので、このさんは何かということについて検討を進めておりますM企画書にはもうんと。
0:37:29	系統最終的には結論をに結びつくような情報として記載しておりますけれども、概略検討際の概略検討における比高変化継続時間、これがおそらく長すぎたためであろうということで、ここについて中心にですね、検討を進めていたというたてつけにしております。
0:37:47	5-1-26ページをお願いいたします。まず、各波源モデルの概要について復習ですけれども説明をいたします。
0:37:55	まず概略影響検討でありますけれども、
0:37:58	三つ図がありますが、左下にあります。
0:38:01	これにつきましては、国際エリアの2層流モデルの結果をベースといたしまして、各エリアの斜面崩壊の全面解禁に半円の堆積エリアを設定いたします。この中に
0:38:18	堆積経路と崩壊量が概略の崩壊量がた一律に堆積すると同時に一律に飛行が変化するというそういう与え方をするというのが概略系統影響検討であります。
0:38:34	一方詳細検討に周囲ありますけれども二相流モデルはもうご存知の通り、
0:38:41	土砂を密度の大きい流体としてときますので、それが水生と水の中に入って水位がどう動くかということ解析いたします。Kinematiclandslideモデルにつきましては、この2層流モデルの結果を用いまして、同会が前進するスピード
0:38:59	及び高さが増えるスピード、これをそれぞれUDとして設定をすると、そういう手法の違いがあるということをまず紹介をいたします。この1-27ページをお願いいたします。
0:39:14	ちょっと具体的にそれぞれの検討の川メートルの設定方法を御説明いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:20	左側が概略影響検討、こうであります右側が詳細検討、この場合はKinematiclandslideモデルについて
0:39:30	気はしております。まずそれぞれの目的ということで、上段の四角で括ってる部分になりますが、外力影響検討の目的は、検討対象地すべりE地形のスクリーニングで使うとさらにいい組み合わせ対象地すべり地形のスクリーニングに先ほど申し上げたスクリーニングであります。
0:39:48	で使うということであります詳細検討の目的は、申し上げるまで500陸上の斜面崩壊に経営する津浪の津波高さを評価するという目的で使用いたします。
0:40:01	一つ、一つ目ですけれども、崩壊土塊の体積につきまして概略影響軽減概略検討ではですね外力影響検討では、防災科研の地すべり地形分布図、これも平面的にわかりますので、これに、
0:40:16	回動解の幅に対する厚さの比率というのが、高速道路調査会で示されておりますので、これをかけるということではつる一律直態度ような形ということで介さ体積を出します。一方、詳細検討ではですね。
0:40:33	周辺の地形Aから滑り面を作成いたしまして、
0:40:40	滑り面形状を考慮して下に凸の形状ということで、ちょっと地すべりの
0:40:48	回動解の体積を断つということでお送りしますので、概略比較検討のほうが堆積が大きくなるという特徴があります。
0:40:58	次に本会の下位の堆積形状でありますけれども、概略影響検討ではですね、3エリアに今までの結果がありますので、この結果、パワーを用いて再エリアの概略体積とその他のエリアの概略体積
0:41:16	これの比をとってですね、それぞれのエリアの体積比半径を求めるということを実施いたしました。
0:41:25	昨日で比べるのモデルにつきましてはオオイ上ではなく、2層流モデルの結果を一律に与えると。
0:41:32	公園化につきましてですけれども、低と外力影響検討につきましては、その前で設定いたしました半径rこの範囲にその上で設定いたしました体積が、
0:41:47	すべて一律にですね一定で対策するというふうに仮定をしております。
0:41:52	Kinematiclandslideモデルは、二相流モデルの解析結果から、そう時間を設定すると。
0:41:59	イコールか継続時間ありますけれども外力影響については、これもですね、佐井エリアの比高変化継続時間、これがわかっておりますので、
0:42:09	堆積の比率としてですね、それぞれのエリアのAtを求めるということにございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:17	Kinematicの場合は2層流解析の結果ということであります。これあれ求めた各パラメーターを使って伝播計算、これは同じ計算ですけれども伝播計算を実施するというので計算を進めております。
0:42:30	同様の1-28ページをお願いいたします。
0:42:33	同様に求めた波源モデルのパラメータを比較したものであります。条例に3エリアぐらい増し打ちエリアのパラメータの比較でありまして、特徴的なものとしては、今回の下位の堆積
0:42:46	他部署の中にも記載しておりますけれども、詳細意見等ではですね、先ほど申し上げたように高速道路調査会の地すべりE面形状例を参照して、滑り面を設定して策定いたします。これに対して概略検討では、
0:43:02	公開の会の平均側に対する厚さの1比率を乗じるということを行いますので、
0:43:09	再遊離が整理うちエリアとも概略を検討のほうが、詳細検討に比べて体積は大きくなっているということになります。
0:43:18	もう一つ、非考慮が継続時間になりますけれども、
0:43:23	詳細検討では2層流モデルによる解析値、これ30秒ですね、もうそのまま用いたものに対しまして、外力影響検討では、佐井エリアを対象といたしました2層流モデルによる崩壊の会が海底に堆積し終わる時間。
0:43:39	300秒を参照して設定しております。
0:43:43	なので、3エリアの比高変化継続時間につきましては、外力影響検討では300秒詳細検討には30秒というかなり大きな差があります。
0:43:53	CBCエリアは結果してですね、77秒は計算で出したものですが、荷重食べようと30秒。
0:44:00	ということで
0:44:02	搭載に比べるとそんなに差はないということになります。
0:44:06	六戸の1-29ページをお願いいたします。
0:44:10	これを葉系で比べてみました、まず再エリアでありますけれども、佐井エリアの斜面崩壊位置から基準津波策定値まで、計4点ですね、この4点の水位時刻歴はつきり深くいたしました。
0:44:23	喋んオカ1.の前面のチェーンプレートです①容疑で外力影響検討の推移と詳細検討するように比較いたしました。全社にメーター程度後者だメーター程度ということで、5メーター程度大きな差があるということになります。
0:44:42	で、
0:44:44	収益ですけれども、概略検討では詳細検討に比べまして、相対的に周期が長い学ぶ程度詳細オダカSAP程度と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:53	ことで営推の立ち上がりが滑らかでして、詳細検討では概略系統に比べて相対的にそういう形上がりが急で、
0:45:01	戸畑形状であるということで、ハケかなり違ってきているということが確認できました。
0:45:07	この1-30ページをお願いいたします。シリーズエリアであります。同じく崩壊位置から基準津波策定値まで4点。
0:45:16	ですが、①ですね、地点①の派遣を比較しますと水位については、
0:45:23	それから概略検討で約4名と詳細検討で約5メートル程度ということで概ね同程度でありました。
0:45:30	概略系統では詳細検討と比べて周期は同程度のように本部がされるということも大体同じぐらいでありますけれども、
0:45:40	先ほど少し違いまして水位の立ち上がりが滑らかにあると証言等では、
0:45:45	概略検討に比べて相対的に水位が立ち上がれ9でとまった葉系であるとかそういうふうなことを確認してございます。
0:45:53	この1-31ページをお願いいたします。まとめでありますけれども、この再投資粒子について比較をした結果でありますけれどもまず差異についてであります、
0:46:04	ためきの地点①での津波水位は外力影響検討では2メートルで駄目だから書けとなっております。
0:46:11	詳細検討にはだメートルでとがった形となっております、津波周期は概略検討で6詳細検討でサンプルといずれも違いが認められます。このような違いの最も大きな要因は、
0:46:24	概略検討におけます比較日高頻度継続時間を300日を高くしたことによるというふうに考えられます。
0:46:31	このような波が下北半島成分の沿岸沿いまして約15km北方ですね、敷地まで15kmですので北方へ伝播して相対的に周期が長い概略影響検討のケースは基準津波策定位置Aはですね、津波水位はほとんど減衰施設に到達しております。
0:46:51	債については、崩壊土塊が大きいにもかかわらず、敷地におけます外力影響検討雨水が小さくなったというのはですね、波源域波源付近の水位が低かったことが原因であろうと、この原因を超える継続時間がなかったということであろうというふうに分析しております。
0:47:09	S入口市有地エリアにつきましては、同じく1定位置ですね波源位置付近の地点1では概略影響検討で読めた詳細検討では5メートル程度でありまして、周期が4分されると、いずれも概ね同程度であると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:25	明け渡しと違いますけれども、このような津波が統合海域へ広がって伝播して津軽海峡を出して約 40kmの位置にあります基準津波策定位置ではいずれの検討ケースも
0:47:38	津浪数が減少して到達しております。
0:47:41	外力影響検討の崩壊土塊体積が大きいので、敷地における水位上昇量は、
0:47:48	詳細検討にも大きな高いという傾向が残ったんだろうというふうに考えております。
0:47:55	使いまとめどうして二つ書いておりますけれども、今申し上げたようなことを求めているのが上段でこの結果の扱いがありますけれども、この概略検討ですね簡易予測式がですねこの会議では、待機適用できるものがないということで、
0:48:13	はげのスクリーニングを目的として行った簡易計算であります。
0:48:17	ですので、検討結果の序列順番ですね。
0:48:22	ランキングがカー重要であるというふうに考えておりますので、水位を評価するということではですね詳細検討を行って実施する必要があるというふうに考えております。
0:48:35	はい。次ものを 2-2 ページをお願いいたします。
0:48:41	津浪発生要因の組み合わせであります。ここはですね経等を記載は変更して、或いは濃いません。
0:48:49	ただし、検討フローを追加しております検討の流れが少しわかりにくいというしさお話がありましたので、
0:48:57	検討フローを追加しています。まず一つ目、組み合わせ時間差の設定でありますけれども、
0:49:05	血糖上昇側に本回答縁部加古川内閣、これのはけとですね、再エリアのハケこれを線形に足し合わせて、
0:49:16	影響が一番大きくなると時間差を設定すると。
0:49:20	この時間差を使ってですね。
0:49:23	二つ目、組み合わせ時間差を考慮した数値シミュレーションを実施するという事でフローをして記載しております。二つ目としては、日本海等Mに想定される地震に伴う津波及び内閣府モデルによる津波が発生した後、
0:49:39	一番で設定したそれぞれの組み合わせ時間差、
0:49:44	御を再エリアの斜面崩壊に起因する津波が発生するケースについて、同一波動場で数値シミュレーションするという。
0:49:52	ということであるということを追記してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:55	内容については、これまで記載させていただくと示させていただいた通りであります、号炉 2-5 ページの例として
0:50:04	上昇側の組み合わせの組み合わせ時間差の設定について御説明いたします。ここでも三つのはけがありますけれども、上段が縁部の家計下段が中段が陸上の斜面崩壊に伴う津波はけえ下段が、
0:50:21	それらを組み合わせ時間差を考慮して、
0:50:25	組合わせたものということで、この水で最大水位上昇量が発生するのは、組み合わせ時間差が 39.6 秒のときと、この 39 で LOCA 強度が大事であるということでもあります。前はここに水を入れているのでちょっとここは山でたのかもしれませんが、
0:50:42	水位は特段このこの数字を使いませんので、時監査だけの記載としたいいたしました。この 2-6 ページであります。
0:50:50	今申し上げたこの時間差 39.6 秒というものを使って、日本海等 MI に想定される地震が発生して、39.6 秒後にしゃべる崩壊が発生する場合の数値名称結果が 5° に努力ということでもあります。
0:51:06	ポンプ自体は入っておりませんが、検討の流れがわかるようにということでちょっと修正をしたということでもあります。
0:51:15	5-10 がそれぞれの結果組み合わせの結果でありまして変更ございません。
0:51:22	6 章、6-1-2 ページをお願いいたします。ここからは防波堤等の影響検討ということで防波堤がない場合の検討についてであります。
0:51:32	が防波堤があるかないかという条件だけが変わるだけですので、詳細限定の説明は前回会議進めておりますので割愛させていただくとして、6-3-10 ページ。
0:51:46	これが結果ということになります。
0:51:51	興研が、以上であります。続いて補足説明資料をご覧ください。
0:51:57	まず、ローマ数字の 8 ページ。
0:52:03	ただ、
0:52:04	お願いいたします。
0:52:06	はい。
0:52:08	本店と同じく補足についても、資料の構成を見直しております。
0:52:14	具体的にはですね、特に所等々を論証／参照オカ 34 消火によるですね、無償では、日本海等 MI に想定される地震に伴う津波ということで、2-1 から 2-4 ということで記載しておりますけれども、この内の 1 から 2-3 は、
0:52:30	これまでの資料は本店に E 添付しておりましたが、補足的な内容ということで補足説明資料のほうに移動させております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:39	4 章につきましてもプレート間に伴う津波に関する検討でありますけれども、
0:52:45	一部本編資料にあったものをこちら側に移動させたというものでありますと、具体的に言うと 4-3 とかですね、4-4-2 から 4-4、これは本文にあります。
0:52:57	追加事項としては、次の 5 章。
0:53:01	津軽海峡沿いの海洋プレート内地震に伴う津波であります。これについて説明いたしますと、ちょっと飛びますが、5-1 ページをお願いいたします。
0:53:13	はい、千島海溝それから呼べる愛知ところの津波であります 5-2 ページをお願いいたします。
0:53:19	タニグチの不確かさの検討ということで、
0:53:23	本編資料では、既往津波の文献調査においては、敷地に影響を及ぼすと考えられる津波のうち海洋プレート内地震に伴う津波として次の 33 年の昭和三陸地震の 2 が選定されておりました。また、2011 年の
0:53:39	等 3.11 地震ですね、が発生しておりますのでその沖側での海洋プレートたちが発生する蓋然性が高いとたまっているというふうを考えておまして、
0:53:50	それから教員ほぼ正対する配置として三陸沖に配置したケースを検討しております。ただし、千島海溝にも抜けたときにですね 2006 年の千島列島自身これプレート間で発生した地震動翌年ですね、2007 年に
0:54:07	プレート内で、地震が発生するというような事例もありますので、念のため、千島海溝沿いの海洋プレート内地震に伴う津波も含めてですね営業を確認することになりました。これはどうするのにも遠く東通 3 説明させてされておると思いますけれども、
0:54:24	東北さんが説明された内容とほぼ同じであります。ただ裕度を
0:54:31	検討ピッチですね、断層の検討ピッチとかは我々の本編資料のほうをピッチに合わせたような形でコンパイルし直しております。今年は、
0:54:43	懇三陸沖Eで使用した波源友達にあります。
0:54:47	4 月タジマ素子の 3 ページ経営海溝軸における 1 の変動範囲については、地震調査推進本部の 2044 日、これをに準じてですね。
0:54:58	変動幅変動範囲を検討しておりますことを奥さんと合わせておりますものをページ層厚の変動幅につきましては、改定地形調査結果等を見まして海溝軸とほぼコースという設定でございます。
0:55:14	この 5 ページ。
0:55:16	欠層も変動幅につきましては、土木学会 2002Eとかだっとなかなか地震 2017 等を踏まえて、 $\pm 10^\circ$ という設定をさせていただきます。6 ページにこれらの検討結果も、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:33	保護具付加したものでありまして、英語のページ、上昇側の結果、この 8 ページが下降側の結果ということになりますので、午後の 9 ページからですね今度は海溝軸直交方向に動かすということを実施するということであります。
0:55:49	はい、えっと 5-10 ページをお願いいたします。動かし方でありまして、本編資料に合わせまして、ピッチは経営東方向へ 100kgまで 50 切り口西方向へ 50kmということに変動幅を検討してございます。
0:56:06	この 11 ページに示します通り、
0:56:09	一方含めても、西傾斜、東傾斜の双方向を検討対象とし、走向は±15 時どういたしました。
0:56:19	脳外科 52 ページの 13 ページが上昇側のため 10 社 14 ページが下降側のまとめということになります。
0:56:28	この今申し上げた概略検討の波源を対象としまして、55 ページから詳細検討実施いたします詳細検討の因子は傾斜角登場mかさ、これも、
0:56:39	三陸沖のケースと変えてございません。
0:56:43	結果、この 16 ページ、
0:56:47	記載の通りでありまして、この 15 ページが上昇側ケースを最終結果、この 18 ページが下降側ケースの最終結果ということになります。
0:56:58	この 19 ページにそのまとめでありますけれども、
0:57:02	今申し上げた結果が条例千島海溝沿いの海洋プレートベンチのところは津波ということでもまとめたものが上の町ですね。
0:57:10	本編で示しておりますアニコムのカワバタに振動脱には下の表ということで、今後概ねそんなに差はありませんけれども、三陸沖の海洋プレート内地震に伴う津波で評価した値が上昇側下降側とも上回ったということを確認をしたというものであります。
0:57:28	少し飛んで 12 の
0:57:32	1-3 ページ。
0:57:37	想定される事故の作成方法をやりますけれども、
0:57:42	もう
0:57:44	これからのところで説明ちょっと忘れておりますがえ等に左下に紙右下にグラフを示しておりますけれども、このグラフですね津浪グループ数gの横軸、これらのスケールがわかるようにつける入れるようにということで御指示いただきます。本来も含めてスキル入ってございます。
0:58:03	それと、細かいですが 52-5 ページに各モデルの想定津波群の作成につきましては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:14	パラスタとしても2ケースですね、破壊開始点が異なるという2ケースしかないの、右上の想定津波群の作成のば健全これが複数個を記載しておりますけれども、イメージ図ずれるということで2号に修正したという修正は、
0:58:31	赤枠でございます。
0:58:34	はい、すいませんでしたが、本日のこちらからの説明は以上になります。
0:58:42	。
0:58:43	はい、ありがとうございました。かなり大部だったのであれですが、池内から適があればですね、何か確認事項があればお願いします。
0:58:56	規制庁の中村ですけども、中身については議論するところだと思うんですけども、以前のヒアリングのときよりは幾らかわかりやすくなったかなとは思いますがね。
0:59:12	ちょっとすいません私の方からもヒアリング3回目なんで細かいところをちょっと確認していきたいと思うんですけども。
0:59:22	まず1点目ですね。
0:59:25	すみませんこれ中文書の確認ですけど、3-2-2-15ページ。
0:59:36	上からの箱のところの一つ目のレ点ですけども。
0:59:44	これ、
0:59:46	文章の言ってることを確認です。モデル1から6の想定津波群の最高値包絡性はイベント堆積物の分布標高を上回るって書いてるのは、例えば右の中ほどのグラフでいうと、
1:00:04	イベント堆積物がある場所の
1:00:09	ものに対して折れ線が56本7本書かれているわけでその一番上のものが、
1:00:16	どれっていうわけじゃないけども、一番上のものが崩落してるってことを言ってるってことですか。
1:00:27	はい。連発カンダでございます。今中村さんがおっしゃった通りであります。
1:00:33	それから、1、例えばですけども出る位置が崩落してるっていうわけじゃないしに1から6のどれかがってことを言ってるってことでいいですね。
1:00:44	排気ので清掃通りあります。
1:00:47	はい、わかりました。
1:00:50	全う閉ですね。
1:00:54	ちょっと、
1:00:56	文章のところの確認はその1点と、ちょっとすみません、説明のところではないんですけども、1点ちょっと確認したかったのが、日高症状おっぱい簿と多分東通さんとやりとりしてると思うんで。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:14	資料なんかは確認してると思うんですけど、今回の資料っていうこの基準津波の例えば東通で言うと、結構比高のやつが大きくなってんですけど、それって何かこの資料には書かれてるんですかね。
1:01:34	はい、電源開発カンダでございます。
1:01:37	現状の資料で2高に振れているところですね、
1:01:45	回転地すべりの章でありまして、
1:01:51	4を国の
1:01:54	AM等考慮しました。
1:01:59	4ページ。
1:02:01	です。
1:02:02	これもかなり昔ですけども、本説明させていただいて記載としては、文献調査ですね、周辺の文献調査、こうですけども、アクションの二つ目のボツです、野田片山2013。
1:02:17	今は北海道理学おおきに会計地すべりが示されているが、敷地の距離関係を公立見通し期中の影響小さいと考えられるということで、
1:02:28	この記載でですね、検討対象から外したという経緯がありまして、その記載がありません。本残っているというものであります。
1:02:37	ナカムラですけども、ちょっとそれについて確認すると今これ敷地への影響は小さいと考えられるって言うのは加工具体的に検討してるってことですか、それとも感覚的な、
1:02:54	定性的っていうかそういうところでは言っているということですか、確認だけです。
1:03:04	これ、
1:03:06	はい。レンガ使うのでございます。
1:03:10	ヒアリングでもですね、同じような確認がございまして、スプレイ冷凍を社内的にはですね、当時の条件で敷地への影響というものを確認をして検査をオーバーして影響がないということを確認してますということ
1:03:25	お尋ねをしております。現状はですね、それ以上のデータはないという状況にあります。
1:03:33	ちょっとそれはあれですか。例えば海底地すべりで中二相流とかなんかそういうのを、
1:03:40	当時の地形データとかそういうのをもとに、
1:03:44	検討をしてるってことですか。
1:03:47	はい、電源開発カンダでございます。当時ですね、公表されているデータ、あとそうですねを使いまして、二相流で記載した経緯があったということでありま

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	す。わかりました。それがこれ最後ですけど、今補足とかそういうのにも特に入 ってはないってことです。
1:04:08	はい、運営会使うのでございます。現状の資料には日高の計算結果等は組ん でおりません。
1:04:16	はい、わかりました。
1:04:18	あと、もう私のほうは、やっぱり何ですかね
1:04:26	斎藤保
1:04:28	もう1ヶ所、逆呈するっていうところがちょっとストンと来なかったんですけど も、説明したいことっていうことは、一応理解したかなと思ってます。
1:04:43	はい。
1:04:45	とりあえず私から以上です。
1:05:29	はい。
1:05:30	はい。
1:05:44	はい。
1:05:46	ナガイさんなんかありますか。
1:05:52	背景と私の
1:05:55	コーセーの件で、ここまでボリュームがここところはオカっていうのがあるん ですけど、この1のところの説明されてる。
1:06:03	はい会計ですな。ここまでボリュームぽんとここに現場のですかね。
1:06:08	海底地すべりのところで説明すべきものが逆にですけど。
1:06:25	電源開発河野でございますすいませんもの1の
1:06:30	今どの部分のことをおっしゃったのかの確認ですけども、
1:06:35	もう一度25以降の話を
1:06:40	このでしょうか。
1:06:48	基本的には地すべりの検討しているところ。
1:06:53	これはやっぱり地すべりなんじゃないですよねここに入れるんじゃないくて、
1:07:00	25からともそうらしい最初のほうの
1:07:04	5月もそうです。これらの値というのは海底地すべりの章でちゃんと評価指標 って上でくみ上げなければいけないですかね、構成として、
1:07:16	それから、
1:07:25	IAEA電源開発カンダでございます。
1:07:28	アマノですね
1:07:31	地すべりのところでという今ご指摘いいかもしれませんけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:35	ちょっと繰り返しになりますけれども、まず 5 章の 1 ですね、組み合わせの方法対象の選定をしましょうということをですね、基本的にはこの 1-2 ページから、この 1-2 ページちょっとご覧いただきながら説明しますけれども、
1:07:56	先ほど申し上げた通り陸上の斜面崩壊の検討の中で、この左側の図の五つのエリアのうち差異が一番大きいよねっていうことで差異を詳細検討を再度詳細検討を陸上の斜面崩壊の所で実施をしたと。
1:08:13	ということです。ですので、その対象組み合わせの対象としても再を使うということで御説明したのに対し、組み合わせの対象でが本当に最大でいいのかというコメントがですね、ケースの 5-36。
1:08:29	です。ですので、5-1 の昭和組み合わせ対象の選定ですので、まさにそのコメントに対する回答と有効性というふうに考えてます。この中で、うん。
1:08:42	サトウ、ここに記載のフローの通りですね、一つ目のひし形のところで差異だけが残ってくればよかったんですけども、概略のスクリーニングをやるんですね、市有地の詳細検討せざるを得ないというふうになってしまいましたので、
1:08:59	ここで主流路を入れているということですので、もし入口の詳細を
1:09:03	斜面崩壊のほうの章に持っていくとちょっと訳がわからない構成になってしまうのかなというふうに考えてます。以上です。
1:09:16	マーケットいただきたいんですけど、本当にこの水申請この流れの確認ですかと。
1:09:21	いうふうに考えていただければ。
1:09:23	本当適切ですかっていうのは違うと思うんですけども、そこは検討してください。
1:09:30	電源開発タカオカです。
1:09:34	組み合わせをする前までは加力検討で、これスクリーニングですからNo.も浅いということで、
1:09:44	皆さんする前まではお答えを
1:09:47	こういう問題顕在化しなかったんですけど、低組み合わせしたところであるちょっと変だっていうのはそういう気づき装荷問いかけ規制庁さんからもいただいたので、それでコメント回答という形でこのS5-36 一体で
1:10:04	御説明した次第でございます。
1:10:17	それはそうとはいえ、今回まとめ資料と比較して求めていただいてまとめる上で本当にそうですかっていうのは別問題なので、今後検討してください。
1:10:26	もう一つ別の方に移ると、実際その組み合わせで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:31	本当にこれ実機体系地すべりって地震動シェア言い出すかすべらないんですかって言うところはどうかお考えですか。
1:10:41	地震等が起きたっていう遅れて会期国連にこれを地すべりとか起こるってことは考えない。
1:10:49	パイプを電源開発カンダでございます。
1:10:52	組み合わせの考え方としては、この 1-3 ページです。
1:10:58	はい。
1:11:02	ディーバをちょっとですね、組合旺盛時間差の設定方法これ、
1:11:08	当先行と同じような考え方ですのでご承知かとは思いますが、ちょっと繰り返し再度説明させていただくと組み合わせその内容はないです。
1:11:20	あくまで地震動が来てる間詰めないというのはそれでいいんですかという問いかけなんて中身聞いてません。
1:11:30	債たるなどって 30 と建てる場合は、そこで観的なピークが出たから、そこで議論が閉じてのほとんどだったと思います。
1:11:39	御社の場合、本当にそれでピークが拾えますかっていうところで、
1:11:44	等考えですかというふうに聞いているだけです。
1:11:52	はい、電源開発カンダでございます。
1:11:59	だからこれは空洞考えるかというところ稼働ですけども、答えとしては、地震動が操作名崩壊の位置で継続している時間で崩壊すると、包絡するという設定で現状を資料化しております。そこが
1:12:17	なんていう話だからそれをんと。
1:12:21	どこまで広げるかそれ以上どう考えるかというところについてはまだ検討する検討をしている状況ではありませんで、この考え方が先行にもだって考え方がなというふうに考えております。
1:12:35	ただ、
1:12:36	この 1-5 ページを見ていただくとですね。うん。
1:12:44	結局、もうVEIをはっきり粕屋申せの最高地点は概ね日本海等縁部のピークのところで出ているというところで間違いないので、
1:12:59	ここ拾っておけばですね。うん。
1:13:02	この図から見ても、今おっしゃった最高値を延ばせないのかというところについては、そうではないかなというふうに考えておりますし、花崗岩についても 5-1-6 ページを見てもらいまして、
1:13:18	結局一番大きいインパクトがあるのは、地震性の売却の下降側ということになりますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:24	ここと連動させている部分んで、再提示が出ているということについてはこれで確認できるかなというふうに考えてます。以上です。
1:13:38	はい、わかりました。あともう1点は御社津波評価内閣が入ってきたお金で変わってしまったので、確認しますけども、
1:13:48	対策別記はとか街路お読みやすいんですけど、ちょっと確認していただいて、組み合わせの検討を本当に足るだけでいいのかというのを再度確認の上で、
1:14:00	必要な検討があれば、もしくは必要な文書をα追加すべきだと考えますとか横ご確認ください。
1:14:09	私から以上です。
1:14:13	すみません本庁サトウですけれども、ちょっとね今いろいろコメントあったんですけども、資料構成等も含めてね、これ
1:14:22	多分もう審査会合もたかなと思うので、
1:14:25	これ以上変更とか修正とかせずにね、多分これも素直にもう審査会合で議論したほうがいいかなと思うので、
1:14:36	その辺も含めてですね、Cはこのままにさせていただいたほうがいいのかとまずは思っています。
1:14:44	本当私からも幾つかはあるんですけどもあまり言っても審査会合でちょっとうちの方の
1:14:51	なんて言うかな。うちの方からも指摘の内容に踏み込んでしまうので、私からはもうあまりコメントはございません。
1:15:01	以上です。
1:15:14	はい。
1:15:15	この狭せえっと、長さ、
1:15:19	このパラメータのことなんですけどそれは聞いてく必要っていうのはないですか。
1:15:25	二相流とか、Kinematicのあたりのですね。
1:15:33	私は別途これどちらでもいいんだ介護またヒアリングするとそちらがわかっています。
1:15:41	わかりましたじゃ介護またってということで、
1:15:44	いいですかね。
1:15:50	どうぞ。
1:15:59	すみません規制庁のイワタですけれども、ちょっと待っていただいてよろしいですか皆さん。
1:19:46	すみませんお待たせいたしましたの規制庁イワタですけれども、本日もね、結局説明時間がやっぱり1時間ぐらいになってしまって、多分審査会合で幾つか

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	議論しなければいけないことっていうのはあるんだと思うんですが、すみません聞こえてますから、電発さん。
1:20:03	タカオカです聞こえております。ということもあってですね今ちょっと中でも少し調査の打ち合わせというかですね相談をしたんですが、まずはですね、コメント回答の部分、今つけていただいている紙でいくと、
1:20:19	指摘事項の本体資料の6分の5ページまでの黄色いところですか。
1:20:29	そこについてまずはやっていただいた上で組み合わせのところはですね。
1:20:34	次回ということで二つに分けるということで、どうですかね。
1:20:44	タカオカでございます。
1:20:48	従来までは組み合わせまでやって次回基準津波ってことだったんですけども、今岩田さん言われたところをある意味そのプレート間のコメント回答までやって近い組み合わせと基準津波一緒によろしいですかね。
1:21:03	なので、まずはコメント回答をやっていただいた上で、まあ、正直言ってね組み合わせのところ来てるといっばいあるんですよ。
1:21:12	そこが進まないと基準津波進まないと思っていて、なので、二つに分けて
1:21:18	合計すると三つに分けるということですかね、基準津波まで入れるとという流れを考えてるんですが、
1:21:30	これはもうタカオカでございます。我々希望としては、
1:21:35	あと2回でご審議基準津波までご審議いただければという希望ではございますが、
1:21:43	どうかって聞かれたら、ちょっと我々としてはお薬お願いしたいんですが、資料3の最後こう判断従うしかないと考えております。はい、すみませんちょっと私の言い方がよくなかったですね我々としてはそうしますとですね、まずはコメント回答の部分を聞かせていただいた上で、
1:22:01	その次に組み合わせを見せていただいて、その際、さらにその次に基準津波まで行きましょうというそういう段取りを考えますので、その低で準備をさせていただけますか。
1:22:17	ある程度とか40に持ってタカオカでございます。ちょっとコメント回答と言われるとですね、我々としては、
1:22:26	組み合わせもコメント回答があるんでそこまで入るのかなと思っちゃうんですけどちょっと
1:22:32	なので最初に表層の通り6分の5ページまでって申し上げたんですが、
1:22:38	含められる6分の5ページっていうとこ言われているのか、ローマ数字の
1:22:43	ローマ数字の掲示で御議論増額ページの指摘事項と書いてあるところが6分の6までありますよね指摘事項。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:52	失礼しました左上のタイトルを言われたわけです。だからローマ数字でいくと6ページまでうちの5ページまでの部分についての回答いただきたいとそういうことです。はい。そうですねあの65ページはもうすでに終わってるので4ページまでっていうことですかね。
1:23:09	はい。わかりました確認はできました希望聞かれれば、2回なんですけど、規制庁さんのご判断でも3回で審議ということであればそれに従わざるを得ないと考えております。
1:23:32	規制庁サトウですけれども、そうするっていうのはちょっと目次をご覧いただいて、
1:23:38	永代いただきたいんですけども、今6つの防潮抵当の影響検討までの資料構成にさせていただいてますが、
1:23:48	これをですね4ポツの地震以外の要因による津波というところまでの資料構成にさせていただきたい。
1:23:56	それでもってまずは審査会合しましょうというこういうちょっとお話なんですよね。
1:24:00	そうするとさっきのちょっと地すべりの話でいくつか確認出ましたけれどもまあそういったところも含めてですね、前回の審査でのコメント回答の定例で一応説明をしていただきたいとこういうことで、なんですがね。
1:24:17	よろしいでしょうか。
1:24:19	でも、タカオカでございます。ご趣旨は理解しまして、ちょっと念のため確認ですけど、ローマ数字の10ページに、
1:24:27	目次がございます。テーマサトウさん。
1:24:31	言われたところ、本日は資料としてはローマシーンをこの表ローマ数字の10ページで6ポツまで資料を御用意してますけどこの4ポツまでにして準備せよと、そういうことを言われてると理解しました。よろしいでしょうか。それで、
1:24:49	はい規制庁佐藤です。その通りで結構です。
1:24:54	はい、タカオカでございます。承知いたしました。
1:25:03	規制庁サトウですけどそうするともう特に修正等は今日のヒアリングをやった段階では基礎的し適正化も特にはないと思っているので、今日の資料数削つ鋼板削っていただければそれで多分、
1:25:20	審査会合資料としてはセットしていただけるのかなという理解ですけれども、そうするとそんなにも時間はかからないで資料は準備できますかね。
1:25:30	確認です。
1:25:33	本店面開発タカオカでございます。準備はできます。できるだけ早めに希望しますので、いつと言っていたいただければ、あわせて準備いたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:43	はい規制庁佐藤です。わかりました。1点だけちょっと資料を不鮮明なところがあるので通す攻めにさせていただきたいところあるんですけども。
1:25:52	c本編資料の1-3-4っていうのがあるんですけども、青森県2015による検討2分の2っていうのがあって、
1:26:04	右下のね。うん。脚注みたいな欲しい※の1234ってあるんだけどちょっとこちらのぼけていて、見づらいので。すみません国会クリアにさせていただいて資料提出をお願いいたします。
1:26:21	あと保育カンダです。失礼いたしました。改善いたしますはい。
1:26:26	あと補足し説明資料も少し私のほうで見させていただいてそういったものがあれば別途御連絡はして修正をお願いいたします。
1:26:36	私からは以上です。
1:26:48	天然開発タカオカでございます。
1:26:53	添付資料が今どこまで定量化部にさせていただいたんですけど、この補足もそれに倣ってっていう広州市と理解しますので、ちょっと
1:27:04	確認の上、遠いしたいと思います。
1:27:10	はい規制庁イワタですけれどもそうすると資料でき上りながら逆にどのぐらいかかりますか。
1:27:21	過温底面返すタカオカでございます。本当に抜くだけですので、すぐできると思うんで、
1:27:29	1日2日ぐらいコピーする時間を考えると、
1:27:34	1日2日でできるかなと思います。
1:28:02	はい。すみません規制庁のイワタですけれどもそうしましたら今すぐにですねいつというのが決められないんですが12月中にやるという方向でですね我々も考えますので、準備のほうできたらですね、資料送っていただけますか。
1:28:17	タカオカでございますし、承知いたしましたで次第お送りするようにご用意いたします。
1:28:25	そしたらうちからほかに何かありますか。
1:28:31	こちらからは以上なのですがナガイさん何かありますか。
1:28:39	今の方針が今私からは特段ございません。
1:28:43	はい、わかりました。そうしましたら電源開発さんのほうにお聞きしたいんですがまずは説明時間は今の
1:28:55	何ですかね資料構成にするとどのぐらい必要でしょうか。
1:29:01	30分ぐらいで話せますか。
1:29:03	まず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:06	定例化した顔でございます。ちょ 40 分と言おうと思ったら先に 30 分と申し上げて、
1:29:13	これもシステムご指示に従って、
1:29:17	対応いたします。
1:29:20	先ほどはこちらが折れていただいたので、今回の私たちが折れて 40 分ということをお願いします。
1:29:29	タカオカでございます。ありがとうございます。410 分いただいてできるだけ簡潔に説明することを考えます。
1:29:36	はい、わかりました。あと今日、本日のヒアリングに関して何かご発言等ございますでしょうか。
1:29:46	タカオカでございます。また冒頭に確認した事項については、後程メールでお送りさせていただこうと思います。こちらからは以上でございます。わかりました。それではですねヒアリングについては以上にしたいと思います。6 のほうを停止してください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。